

エクストリーム2023年度 変更点などのご案内

(1) ミディアムクラスの体高について

2021年にミディアムクラスを設立し2年間運営してまいりましたが、全エントリー数からの決勝進出枠のバランスを考慮し、ミディアムクラスの体高の設定を以下の通り変更することとなりました。変更の枠に該当し、ミディアムクラスに移行となるワンちゃんには申し訳ございませんが、ご理解いただければ幸いです。

2022年まで 36cm以上、44cm未満

2023年より 34cm以上、44cm未満

(2) 決勝進出枠について

今年もエントリー数における変動制をとりますが、ミディアムクラスの体高を変更しました関係で、よほどの開きがない限りはミニチュア6、ミディアム3、オープン6とします。

(3) 体高計測について

昨年までは前運営より引き継いでおりましたポータブルの赤外線式距離センサーを使用しておりましたが、角度による誤差も大きいため、2023年度より、誤差の少ない形式に変更いたします。通常のキ甲の部分に板状のものを乗せる一般的なタイプになる可能性もございますので、その場合に備えて体高計測の練習をお願いいたします。正しい姿勢を保持できず正確に計測できない場合は、ルールブックにあります通り、簡易計測の数値に5cm加算した数字になりますのでご了承ください。

<簡易計測+5cmになりやすい事例>

- ・頭が下がる → おやつなどで姿勢を維持しようとする場合に特に見られます。
- ・キ甲が上下する → おやつなどで姿勢を維持しようとする場合、食べようとする動きにより上下するケースに多いです。
- ・足が地面に対して斜めになる。 → 上から体高計測機が当てられるのを警戒するなど。
- ・体が左右に倒れる。 → 上から体高計測機が当てられるのを警戒するなど。

これらを防ぐためにも、保定されたうえで、他人から背中に物を当てられることに慣れさせるように練習をしておいてください。保定の仕方につきましては今後、動画などで紹介する予定です。

(4) ハードル・ビッグバーのパネルの廃止

ハードル・ビッグバーの一番下のバーはこれまで板状のものを使用しておりましたが、強風時は使用できない場合があることと、バーの上に着地してしまった場合、角度によっては衝撃がそのまま愛犬の体に伝わる可能性が高いため、今年から廃止します。また、バーは、塩ビ管にパイプ用保護クッションを巻いたものに順次変更してまいります。

(5) 手袋・軍手の着用について

ハンドラーの手袋や軍手の着用についてお問い合わせを何件か頂きましたが、手のひらまで隠れる日焼け防止のハンドカバーの扱いなどが難しくなりますので、今年はひとまず禁止にはせず継続検討とします。ただし、手袋の内側におやつなどを入れる行為は禁止とし、スタート前に抜き打ちでチェックすることもございます。もちろん走行中に外して手に持つ行為は失格となります。

(6) 設営日の場所取りについて

2023年度から、設営日の場所取りにつきましては、当日抽選にて優先順を決めます。対象は設営スタッフが会場に到着し外周を決定したのち、その時点で会場に到着している皆様です。なお抽選の順番は会場到着順ではありません。なお翌日に参加しない方の分の場所取りはできません。

具体的な運用に関しましては開催要項または各大会の説明書に盛り込みます。こちらはシーズン中に適宜修正していく予定です。

(7) 外周ネットとテントの間隔

フィールドを囲む外周ネットからテントの前面は1.5m以上空けていただきますようお願いいたします。

(8) 決勝登録時のデータ

今年から、地区大会にて権利を得て決勝の登録をしていただく時、以下の項目が追加となりますので、決勝進出を目指す皆様はご準備をお願いいたします。直前でなければ変更も可能です。

- ・愛犬名の英語表記
- ・二つ名 →「黒い弾丸」など。かっこいいもの、カワイイもの、面白いもの、何でも結構です。字数はなるべく15文字以内に収めていただきたいです。

<2024年からの予定>

(1) オープンのフラッグの間隔

来年から、オープンフラッグの間隔を、現状の50cmから60cmに変更いたします。2023年は昨年までと同様の50cm幅で行います。ミニチュア、ミディアムクラスは来年以降も50cm幅となります。なお、体験会では今年の後半から60cm幅のフラッグを導入予定です。

以上です。よろしく願いいたします。

エクストリーム事務局